

とき

vol.24

星鹿コミセンに 巨大ツリーが出現！

星鹿公民館生涯学習推進協議会と
パッチワーク教室の会員の皆さん



◀ ツリーの飾り付けをする会員たち

星鹿公民館生涯学習推進協議会（辻仁会長）の委員や同公民館のパッチワーク教室（田中侑子代表）の会員が、星鹿コミュニティセンターのロビーに巨大なクリスマスツリーを制作しました。

地域住民や子どもが気軽に集まり、交流を深める場になってほしいと、同施設の利用者である同協議会などが企画し、11月中旬から制作を始めました。

ツリーの土台は、もうそう竹を三角すいの形に組み、竹の骨組みにくずのつるを巻きつけ、木の枝などを使って制作。その後、電飾をし、パッチワーク教室の会員がキルト生地で作った星や靴下、ネズミなどをツリーにつるして飾り付けました。

また、11月に開催された星鹿町民作品展で作成した竹の飾りなどを利用してロビーの飾り付けをし、電飾でつくった雪だるまなども飾られました。

辻会長は「公民館では女性の活動が多いですが、今回のクリスマスツリー制作では男性がそれぞれの得意分野で、竹の切り出しから飾り付けまで楽しんで協力してもらいました。初めての試みでしたが、好評なら来年は子どもたちも一緒にクリスマスツリーの飾り付けを行い、人が集いやすい場所になればと思っています」と話していました。

ツリーは、クリスマス当日の12月25日まで訪れた人の目を楽しませました。